

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度第5回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和4年11月14日(月) 午後1時00分 開会 ・ 午後3時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、川名 千鶴子、相葉 学、伊藤 雅道、加治 隆、斎藤 令子、手島 吉紀、永井 健一、中島 毅、中村 巖、新関隆、平塚 基志、森 友和
欠席委員(者)氏名	篠塚 玲子 高村 賢二
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課 課長 竹廣 由美 エコ・クリーン政策課 主査 村上 俊 一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構 笠原 喜雄
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長挨拶 3 市長挨拶 4 諮問 5 入間市ゼロカーボン協議会について 6 入間市地球温暖化対策実行計画(案)について 7 事務連絡 8 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料1 入間市ゼロカーボン協議会概要 資料2 入間市地球温暖化対策実行計画(草案) 資料3 入間市地球温暖化対策実行計画(草案)54ページにかかる差替資料
事務局職員職氏名	【環境経済部】 部長 原嶋 裕子 副参事(脱炭素・資源循環担当) 中村 慧 【エコ・クリーン政策課】 課長 竹廣 由美、主幹 松落 義夫、主査 村上 俊、 主事 神田 啓佑 【事務局支援】 一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構 笠原 喜雄、斎藤 隆秀 株式会社地域デザインラボさいたま 鈴木 健、宮本 悟
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

【報告事項】

資料1「入間市ゼロカーボン協議会概要」に基づき、事務局から入間市ゼロカーボン協議会の概要の説明を行った。

【議題】

入間市地球温暖化対策実行計画（草案）について

議題については、事前配布である資料2「入間市地球温暖化対策実行計画（草案）」、資料3「入間市地球温暖化対策実行計画（草案）54ページにかかる差替資料」に基づき、特に第5章及び第6章について事務局から補足説明したうえで、審議委員による意見交換を行った。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 (松落主幹) 黒瀧会長 市長 市長、会長 黒瀧会長	<p style="text-align: center;">(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 諮問</p> <p style="padding-left: 2em;">市長が諮問書を読み上げ、会長へ渡す。委員へは、コピーを配布。</p> <p>5 議題</p> <p style="padding-left: 2em;">これより議題に移ります。入間市環境審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長になる旨が定められておりますので、以降の進行を、黒瀧会長よろしくお願いいたします。</p> <p style="padding-left: 2em;">本日の出席委員は13名です。入間市環境審議会条例第6条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されておりますので、本審議会は成立します。</p> <p style="padding-left: 2em;">審議会については、情報公開条例に基づき、基本的に「公開するもの」と定められております。なお、本日は、1名傍聴の届け出がありますので、これから傍聴人に入場いただきます。</p> <p style="padding-left: 2em;">議事に入る前に、傍聴人に対して傍聴上の注意事項を申し上げます。傍聴人遵守事項をよくお読みいただき、遵守いただきますよう宜しくお願い致します。遵守事項に従っていただけない場合は、退席いただきますので、ご了承願います。</p> <p style="padding-left: 2em;">では、次第に沿って進みます。まず報告事項ということで、「入間市ゼロカーボン協議会」について事務局より説明があります。</p>
事務局 (村上主査)	<p>まず、環境審議会では、環境の保全に関する基本的事項についてご審議いただく場であるのに対して、ゼロカーボン協議会は再生可能エネル</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ギーの導入を促進するための具体的な取組を行う実行部隊という整理をさせていただきます。</p> <p>ゼロカーボン協議会は2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて官民連携による脱炭素型まちづくりの推進体制を構築するため、令和4年6月28日に設置を致しました。</p> <p>本協議会は総会、その傘下に3つの専門部会を設置しており、また、オブザーバーとして経済産業省関東経済産業局、環境省関東地方事務所にご参加いただいております。</p> <p>本協議会では、エネルギーの地産地消に向けた取組について先行着手をしております。具体的には、公共施設や民間施設の太陽光発電設備の設置促進、地域新電力の誘致について専門部会を中心として協議をしております。地域新電力の売電収益の一部を活用して、災害時の防災レジリエンス強化、市内企業の脱炭素化、EVカーシェア等によるゼロカーボンドライブの普及、狭山茶、里山の保全といった地域課題の解決につなげていくというモデルの創出を目指しております。</p> <p>総会の会員については、入間市より杉島市長、入間市商工会会長である関根栄一様、入間市工業会長である寺園智樹様、入間市連合区長会会長である矢崎勝好様、入間市農業委員会会長である中島敦夫様、入間市金融団団長である金子晋様、入間市環境審議会会長である黒瀧孝秀様、学識経験者として平塚基志様にご参画いただいております。</p> <p>専門部会は、再生可能エネルギーを活用する企業等を発掘する需要家開拓部会、再生可能エネルギーの供給計画を検討する再生可能エネルギー供給部会、導入にあたっての資金支援を検討するファイナンス部会となっており、これら3部会については企業団体の事務的なご担当者様にご参画をいただいております。</p> <p>今後、HPなど審議内容を記載する際には皆様に誤解を招くことのないよう配慮して参りますので、何卒宜しくお願い致します。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>環境審議会及びゼロカーボン協議会の2つの会議体はいずれも入間市が目指すゼロカーボンシティに不可欠であり、ゼロカーボンシティ実現のための両翼を担っております。</p> <p>ゼロカーボン協議会で推進していく具体的な取組事業につきましては、環境審議会における委員の皆様のご審議なくしては実現することは困難なものとなっております。</p> <p>本日の審議会におかれましても、ぜひ活発なご意見、ご審議をいただき、入間市のゼロカーボンの実現に向けて必要な地球温暖化対策実行計画の策定にお力添えをいただければと存じます。</p> <p>ただいまゼロカーボン協議会に関する説明がありました。本件に関しては報告事項であり、審議を要するものではありません。何かご質問はありますでしょうか。</p> <p>続きまして、諮問事項に関する審議に入ります。入間市地球温暖化対策実行計画（案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>（事前配布資料である資料2の入間市地球温暖化対策実行計画（案）の第5章及び第6章について説明）</p>
黒瀧会長	<p>では、特に第5章、第6章で示された枠組み、目標に対して等、ご意見いただきたいと思えます。</p>
加治委員	<p>2点質問があります。1点目、39ページに記載されている5-1-4について、自然環境の保全とありますが、保全に加えて「緑化」という視点も重要であり、盛り込むべきだと考えます。54ページにも「緑化」という文言はありますが、「緑化」という視点を強調する観点からも5-1-4にも記載すべきかと思えます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>2点目、13ページの入間市の地域特性について、かつて1町6村から生まれた入間市において、それぞれの地区ごとの市民活動、文化圏における特性も交えた記載を追記してはいかがでしょうか。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの加治委員の意見について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
加治委員	<p>追加で、1町6村では、それぞれの地域で産業や人口密集度合いも異なるため、それぞれの地区に適した発電設備の導入方法もあるのではないかと考えている。</p>
黒瀧会長	<p>他の委員の方から、加治委員のご意見に対してご意見などございますか。</p>
川名副会長	<p>質問です。地図に対するご意見は、入間市の各地区分けの線引きを入れるという解釈でよろしいでしょうか。</p>
加治委員	<p>そういう方法もありだと思えます。線を入れると同時に地域ごとの特性の表現があった方が良いのではないかという意見です。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの2点の意見について、そのほかご意見ありますか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、39ページの5-1-4に「緑化」の観点の追加、13ページの地域特性について、地区ごとの線引きと特性の追記してほしいという意見について審議会として「反映していただきたい」として意見をまと</p>

発 言 者	発 言 内 容
齋藤委員	<p>めたいと思います。</p> <p>そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>質問です。41ページ上段の表「再生可能エネルギーの導入のポテンシャル」の欄に45ページに記載のある「木質バイオマス」の記載がないので、木質バイオマスによるエネルギーは再生可能エネルギーではないという認識でよいでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>41ページの再生可能エネルギーの導入ポテンシャルについては、環境省の REPOS データ（環境省の再生可能エネルギー情報提供システムのデータ）を基に作成した資料です。</p> <p>別途、木質バイオマスを活用した導入可能性調査も行っております。現状、調査中でありますので、調査後ポテンシャルについて表記させていただきます。</p>
手島委員	<p>質問です。41ページの再生可能エネルギーの導入ポテンシャルについて、「太陽光発電（住宅用等）」と記載がありますが、これは市民の住宅のみが対象なのか、事業所を含んでいるのかどちらでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>「住宅用等」に関して、REPOS 上では事業用地、屋根上も一部含んでいる数値となっております。こちらについても導入可能性調査の結果を踏まえ、数値を記載させていただければと思います。</p>
手島委員	<p>こちらの数値はどこからのデータでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>環境省の REPOS データをもとに入間市におけるポテンシャルについて作成した数値となっております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
手島委員	<p>もう一つ質問です。41ページのポテンシャルでは、太陽熱、地中熱における数値が高く、大きなポテンシャルを有しているように見えますしかし、太陽熱及び地中熱への言及がされていないことは理由があるのでしょうか。</p> <p>例えば、直近は難しくとも2050年に向けて、それらを利用できる技術革新があるというような提示はあった方が良いと思います。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>手島委員のおっしゃる通り、今後、技術革新が進むにつれて太陽熱や地中熱を活用できる可能性がでてくると思いますので、事務局で協議し、どのように表記すればよいか検討します。</p>
手島委員	<p>追加で質問です。ポテンシャルについて、レベル3「切妻屋根北側・東西壁面、窓10㎡以上に設置、敷地内空地なども積極的に活用」を採用しているとのことですが、このレベル3は現実的に可能な水準なのでしょうか。</p> <p>44ページの総排出量は事業所もすべて含まれている数値であると思いますが、太陽光発電のポテンシャルについては「住宅用等」と記載があり、「住宅用等」のみで33%の削減は現実的なのでしょうか。産業部門に着目した施策が必要だと思います。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>どんな施策が必要なのかにつきましては、今後引き続き検討している段階ではあるのですが、まず、打ち手としてはEVの導入や再エネの導入等を通じ、地域の地産地消をどのように推進していくのかをゼロカーボン協議会において検討させていただければと思います。</p>
平塚委員	<p>数値に関して質問です。41ページのポテンシャルの「設備容量」と</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原氏)	<p>というのは、すでに導入している設備ということでしょうか。</p> <p>はい。導入済の設備です。</p>
平塚委員	<p>太陽光発電のポテンシャルでは、入間市全体の屋根にほぼ太陽光パネルを設置したとしても、電気の総需要の2割～3割しか賅えない状況かと思えます。</p> <p>60%程度は外部から調達するしかないと思いますが、それが果たしてゼロカーボン達成の目標年である2050年までに達成できるか違和感があります。</p> <p>入間市の特性や自然環境の保全の観点等も踏まえ、ゼロカーボンに向けて困難な部分もあれば、それも記載した方が良いのではないかと思います。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの平塚委員の意見について、審議会の意見としてまとめてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、先ほどの平塚委員の意見を審議会の意見といたします。他にご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
新関委員	<p>45ページの現状趨勢予測による総排出量の推移グラフについて、項目が細かく、グラフの色と対応している項目が分かりづらいと思えます。見えやすいようにしていただきたいと思えます。</p> <p>水色の「業務その他部門」の推移が年々大きく減少していますが、どのような要因で減少していくのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原氏)	<p>一方で緑色の「家庭部門」の推移では、大きな減少は見られないものの、46ページでは「家庭部門」の削減目標を2013年度比で66%の削減率と記載があります。この削減目標は現実的な目標水準なのでしょうか。</p> <p>「業務その他部門」の推移数値については、かなり積極的に削減していく決意の部分も含めた数値を記載しております。</p> <p>グラフについては、見やすいように修正致します。</p> <p>「家庭部門」の削減目標については、2050年の達成に向けて逆算した形で目標数値を記載しております。実際にこの目標を達成するためには、具体的に何をすればよいのか、何世帯に太陽光発電設備をいくつ導入すべきか等、削減数値目標と活動目標をリンクしたものを記載させていただければと思います。</p>
新関委員	<p>「家庭部門」では高い目標を設定するという事は、市民にも「こういう取組をしていきましょう」と強いメッセージを打ち出すという計画になるということでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>はい。おっしゃる通りです。</p>
新関委員	<p>「業務その他部門」は具体的にどのような部門が含まれておりますか。また、入間市にある大型商業施設はどの項目に分類されていますでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>「業務その他部門」については、庁舎や事務所・ビル、デパート、学校、病院、飲食店等における取組を通じての数値の記載です。</p> <p>大型商業施設等については、「産業部門 製造業」に含まれておりま</p>

発 言 者	発 言 内 容
新関委員	<p>す。</p> <p>「その他部門」の積極的な削減数値の推移というのは、入間市役所等の関連施設の積極的な削減を表すものであり、現状の数値は、入間市役所等の関連施設での排出量という認識でしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>はい。おっしゃる通りです。</p>
森委員	<p>38ページの5-1-2防災レジリエンス強化の「災害時の電力確保」という部分について、想定している災害規模などありますか。2050年までに起こり得るとされる災害は多岐にわたると思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>市民に安心感を与えるためにも、このような災害の場合でも電源確保はできるというような記載をした方が良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>ご指摘いただいた大災害等、どこまでの災害を計画内に表記するかについてはご審議いただきたいと思いますが、ここで記載しております防災レジリエンス強化では、電力供給がストップするような災害を想定しております。</p>
森委員	<p>どのくらいの期間に電力が止まるかは災害によって変わると思いますが、「仮に電力が1週間～2週間止まっても大丈夫です」というような記載が必要ではないかと思えます。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの森委員の意見について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
永井委員	<p>ここでの文脈をみるに、EV の使い方の例を提示したものかと認識しています。その一つの例として、災害時に EV から電力供給することも可能である旨を表記しているものと思います。</p> <p>ここでは、どれくらいの災害であるとか、どれくらいの期間に対して電力を供給できるかを記載する必要はないと思います。</p>
森委員	<p>受け取る人によって捉えるイメージが変わる可能性があると思いました。そのため、受け取る人が防災レジリエンス強化についてイメージしやすいような工夫が必要であると思います。</p>
黒瀧会長	<p>そのほか、ご意見のある方いらっしゃいますか。</p> <p>事務局としては、永井委員がご発言したような、EV の活用例の提示という認識でしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>EV の活用例という記載でしたが、ご指摘いただいた通り、イメージが伝わりづらいという点は、修正が必要であると思います。ここで4項目挙げさせていただいている部分について、イラスト等を活用しイメージが伝わりやすい工夫を行います。また、具体的に、EV 1 台あたり何世帯分の電源供給が可能となるかといった数値的な記載については、ご審議いただければと思います。</p>
黒瀧会長	<p>では、こちらの部分については、内容の修正等をしていく過程で表現等を検討していただくよう審議会意見としてまとめたいと思います。</p>
斎藤委員	<p>質問です。44 ページの図について。「エネルギー起源」「非エネルギー起源」と記載がありますが、これはそれぞれ「エネルギー起源CO</p>

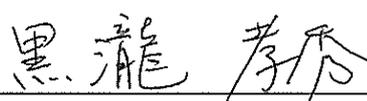
発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原氏)	<p>2]、「非エネルギー起源CO₂」という認識でよろしいでしょうか。</p> <p>はい。ご認識の通りです。</p>
斎藤委員	<p>34ページの「エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス」と44ページの「非エネルギー起源CO₂」の数値が異なる部分がありますので、修正をお願いします。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>かしこまりました。修正致します。</p>
伊藤委員	<p>質問です。44ページの図の下段にある「森林吸収量」について、これは入間市にある茶畑などの吸収量も含まれているのでしょうか。あるいは茶畑における吸収量は微々たるものであり、記載は困難なものなのでしょうか。</p> <p>また図としても少し見にくいように感じます。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>こちらのデータは「森林」、「茶畑」等の植物において分かれているものではなく、入間市の事前調査の結果をお示ししております。全体の植物の吸収量とご認識いただければと思います。</p>
伊藤委員	<p>51ページの脱炭素ロードマップについて再エネ対策としての「再エネ拡大」において、平成30年度以降から取り組んでいる太陽光発電の促進と令和12年度から開始される地域特性を踏まえた再エネの導入促進における太陽光発電の導入促進とは違うものなのでしょうか。</p> <p>また、「地域特性を踏まえた」と記載がありますが、太陽熱・バイオマス・小水力の利用は入間市において現実的なものなのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原氏)	<p>まず、太陽光発電の促進についてですが、内容は同じものなので1本化して記載致します。</p> <p>太陽熱・バイオマス・小水力の利用については、現在行っております導入可能性調査の結果を踏まえ、記載を残すのか削除するか検討させていただきます。</p> <p>また、図として見えづらいというご指摘もございましたので、修正致します。</p>
手島委員	<p>51ページの再エネ対策の再エネ100%メニュー提供欄の右側に民間企業向け事業所の50%に供給するという記載がありますが、どこから発生した再エネを供給する想定でしょうか。入間市で発生した再エネを供給するというのでしょうか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>現状、再エネの地産地消の推進を行っておりますが、地産のみで需要量のすべてを賄うことは難しい状況です。そのため外部からの調達も含めて事業者に向けて供給する認識です。</p>
手島委員	<p>今後、具体的な提示はされますか。</p>
事務局支援 (笠原氏)	<p>今後、例えば事業所の10%に供給するためにどのような方法で調達するかなど掘り下げて記載させていただければと思います。</p>
手島委員	<p>43ページの表5. 3-1の現状BAU数値は、44ページの図の下の森林吸収量を差し引いた数値が記載されていると思いますが、平成30年度は差し引いた数値が記載されておきませんので、修正願います。また、平成25年度も森林吸収量はあると思うので追記願います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原氏)	修正致します。
手島委員	全体的に、和暦表記であったり西暦表記であったりするので、統一感をお願いします。
事務局支援 (笠原氏)	修正致します。
相葉委員	ゼロカーボンの達成に向けて、再エネだけではなく、カーボンリサイクルのような新しい技術の活用等の記載はありませんが、盛り込むような想定はされていらっしゃるでしょうか。
事務局支援 (笠原氏)	現状、記載の予定はありませんでしたので、事務局内で協議、検討させていただきます。
黒瀧会長	出来れば、記載いただく方向での調整を願います。 そのほか、ご意見のある方はいらっしゃるでしょうか。
加治委員	47ページの取組目標に「2030年度には設置可能な建築物（敷地を含む）」と記載がありますが、建蔽率の観点もあると思いますので、これは敷地を持たない、建物だけの場合は対象としないという認識によるのでしょうか。
事務局支援 (笠原氏)	ご指摘の通り、建蔽、容積の関係性もあります。基本的には建物の上の設置を想定しております。また、空いている敷地についても建蔽などを勘案しながら、設置可能な部分を対象とします。
森委員	本計画の中で、交通に関する視点、なるべく自動車を使わず自転車を

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>使用するといったような記載はありますか。</p> <p>環境問題と省エネについて触れる内容も盛り込んではいかがでしょうかと思います。</p> <p>今の森委員のご意見について、ご発言のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
森委員	<p>追加で、市民に通勤等で自転車をさらに活用してほしいと思います。自転車を扱う場面は自宅から駅に行くまでが多く、逆に入間市内の企業に自転車で通勤するといったことが広がると省エネにもつながると思います。</p> <p>この計画で、そういった将来展望ができないかと思います。</p>
黒瀧会長	<p>54ページに市民の取組における意識として、身の回りでできる省エネや公共交通や自転車の利用の記載があります。</p> <p>ただ、それらに対する普及、拡大に向けた活動は行政として行うべきではないかという意見でしょうか。</p>
森委員	<p>仕組みとして検討していかないと、こうした自転車の利用は進まないと思います。個人個人の意識改革だけでは限界があり、駅前の駐輪場の使い勝手であるとか、そういう問題も併せて検討していくべきではないかと思います。</p>
黒瀧会長	<p>行政として自転車利用など省エネ活動の普及・拡大に向けた取組、仕組みづくりにご配慮いただきたい旨を審議会の意見としてまとめたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>(異議なし)</p> <p>では、今のご意見を審議会意見とさせていただきます。</p>
黒瀧会長	<p>議事は以上です。本日、審議会意見としてまとめたものについては、地球温暖化対策実行計画に反映していただきたいと思います。</p>
司会 (松落主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務連絡として事務局より次回日程について説明します。</p>
事務局 (村上主査)	<p>(次回日程、場所、議事について説明)</p>
司会 (松落主幹)	<p>最後に川名副会長から、閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
川名副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和 4 年 / 2 月 28 日	
議 長 の 署 名	
議長が指名した者の署名	